

トラスコ中山、AI導入

米IBM製 ワトソン 商品検索の精度向上

トラスコ中山は米IBMのAI（人工知能）「ワトソン」を導入する。商品検索の精度や容易さを高める狙い。現在の社内外向けの検索システムは商品名や型番、特徴などの情報を入力する必要がある。ワトソンの導入で「熱い物が持てる手袋」といった話し言葉で探せるようになる。2019年に顧客向けのECサイトに組み込む。システム導入に1億5000万円を投じた。まず18年春に社内向けの検索システムで、34万商品を対象に運用を始める。同年秋

に全132万商品に拡大する。19年半ばにはECサイト「トラスコム」で顧客が使えるようにする。

オレンジブック・c om」で顧客が使えるようにする。当面は文字を入力する必要があるが、将来は音声入力や、画像で検索できる機能を加える考えだ。同社は取扱商品を増やしており、顧客の要望に合致した商品を効率的に探し出すことが課題になっていた。

ワトソンの導入で「熱い物が持てる手袋」といった話し言葉で探せるようになる。2019年に顧客向けのECサイトに組み込む。システム導入に1億5000万円を投じた。まず18年春に社内向けの検索システムで、34万商品を対象に運用を始める。同年秋